

令和9年度農林水産関係一般予算概算要求 決定！

農水省は、令和9年度予算の概算要求を決定し、その総額は前年度当初予算の約1.4倍となる3兆1,377億円となりました。

この概算要求に先立ち、私たちJAグループ鹿児島・県農政連は、鈴木農林水産大臣や本県選出の国会議員に対して、「令和9年度農畜産物対策に関する中央要請（8/6～7）」を実施しました。

本県JAグループにおいては、農業構造転換集中対策等の継続・拡充や物価高騰・生産資材の供給不安定化等への万全な対応、各品目の経営安定対策の予算確保等を求め、概ねJAグループ鹿児島の要請内容が反映されました。

また、新たな水田政策や農業構造転換集中対策、飲食料品に係る消費税の引下げに係る対策等は、概算要求に盛り込まれましたが、年末まで予算額が示されない「事項要求」となっており、今後の予算編成の過程で議論されることとなっております。



〔8.8.7 鈴木農林水産大臣への要請〕

＜令和9年度農林水産予算一般概算要求の主な項目＞

1. 農業構造転換集中対策の着実な推進	2,904億円+事項要求	8当 494億円 7補 2,410億円	8. 畑作物産地生産体制確立・強化事業	72億円	8当 - 7補 58億円
2. 新たな水田政策の創設	3,565億円+事項要求	8当 3,565億円 7補 -	9. 甘味資源作物生産支援対策	117億円	8当 105億円 7補 -
3. 加工・業務用野菜の国産シェア奪還	7億円	8当 3億円 7補 2億円	10. 畜産クラスター事業等	547億円	8当 - 7補 546億円
4. 果樹の生産増大対策	61億円	8当 56億円 7補 -	11. 和牛肉の持続可能な需要確保	170億円	8当 - 7補 170億円
5. 果樹・茶生産飛躍的拡大事業	31億円	8当 - 7補 -	12. 新規就農者の育成	217億円	8当 114億円 7補 78億円
6. 強い農業づくり総合支援交付金	38億円	8当 120億円 7補 -	13. スマート農業技術活用促進集中支援プログラム	796億円	8当 185億円 7補 529億円
7. 茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進	13億円	8当 11億円 7補 -	14. 消費・安全対策交付金	57億円	8当 19億円 7補 13億円

※飲食料品に係る消費税率の引下げに係る対応に係る経費等は予算編成過程で検討。

＜令和9年度農畜産物対策に向けた要請内容のポイント＞

共通対策

- 食料安全保障の強化に向けた農業構造転換集中対策等の継続・拡充
- 物価高騰・生産資材の供給不安定化等への万全な対応
- メルコスールとの経済連携協定交渉におけるわが国農業のセンシティブティ等への配慮

肉用牛対策

- 繁殖雌牛頭数の大幅な減少に伴う生産基盤対策の継続と支援拡充
- 和牛肉の消費拡大対策の十分な予算確保等

茶業対策

- 薬用作物等地域特産作物体制強化促進と園芸作物等の先導的取組支援の継続・強化と十分な予算確保
- 予算の確保と産地の基盤確保（園地継承や技術継承等）に資する新たな支援

甘味資源作物対策

- 再生産可能な生産者交付金の設定、でん粉原料用甘しょ・さとうきび生産振興対策

水田農業

- 新たな水田政策への対応と予算の確保

野菜・果樹対策

- 輸入解禁協議における国産生鮮ばいしょの確保・生産基盤強化対策
- 現場は輸入反対の立場であることは大前提のもと侵入リスクが「ゼロ」となる輸入解禁条件設定、協議状況の情報開示



事項要求って？

概算要求の段階で、まだ政策の具体的な内容が決まっておらず、政府・与党の調整を待つ必要がある場合などに使う手法のことをいうよ。

最終的な中身は年末に翌年度予算案を決める際に詰めることになっているんだね。

JAグループの要請の成果（一例）

要請の結果、
・前年度より予算額を増額要求（11億円→13億円に増額）
・基盤確保として、園地継承等への支援が新たに追加

概算要求に関する詳細なデータは、農水省 HP に記載されておりますので、ご参照ください。（URL: <https://www.maff.go.jp/j/budget/r9yokyu.html>）



QRコードからもみられるよ！

